

令和2年度事業計画

文化芸術は、単なる愛好者の活動・鑑賞からの枠を超え、文化芸術の持つ多面的な力によって、国や地域を発展させ、社会を豊かにする役割を担ってきました。それは、常に人々に活力や誇りをもたらし、潤いを与え、愛されてきた文化芸術だからこそ出来たことであり、今後ますますその重要性は高まっています。

当財団は、このような時代要請に応え、令和2年度において、文化芸術の力で全ての人が心豊かになり、人と人、社会と人がつながり、交流し、地域が元気になるための取組を計画・実践します。

公1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、当該法人の目的を達成するために、「国内外の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供による県民文化の向上《観る》」、「文化芸術愛好者の拡大《触れる》」、「文化芸術活動者・次代を担う若者の育成と文化芸術への参画《育てる》《伝える》」、「新しい文化芸術の創造《創る》」を重点項目として、その実現のための各種取組みを実践し、文化芸術事業を推進する。

また、このほか、文化振興を図る拠点施設である鳥取県立県民文化会館の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供する。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定を締結のうえ、これを遵守していく。

1 文化芸術の振興と創造・発信事業

国内外の芸術性の高い公演、日本古来から継承される伝統芸能、その他幅広いジャンルの舞台公演の鑑賞機会を提供するとともに、特色ある地域文化と文化芸術の魅力の発信、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図るため、県民が主体的に参加する事業の実施、また、将来の文化芸術の担い手としての鑑賞者や活動者の拡大のため、鑑賞・体験事業を実施するほか、県内の多彩な文化芸術情報を収集し、県民に向けて発信する。

(1) 鑑賞公演の提供 《観る》《触れる》 【予算額 91,620千円】

	事業名(公演名)	開催時期	開催場所	目標入場者数
1	とりぎん文化会館梨花ホールリニューアル記念事業 「バリ管弦楽団 鳥取公演」 ※共催：(株)山陰放送	10月23日(金)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,800人
2	Concert 2020 ～オールスターズの企て～ ※共催：(株)エフエム山陰	12月5日(土)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,394人
3	ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・ コンサート2021	1月11日(月・祝)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,215人
4	モルゴア・クアルテット演奏会 ※共催：湯梨浜でクラシックを聴く会、湯梨浜町	9月4日(金)	ハワイアロハホール 大ホール	480人
5	神田伯山 独演会	10月11日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,100人
6	～親・子・孫、3世代におくる、歌のきずな～ みんなのうた コンサート ※協力：NHK鳥取放送局	11月1日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,100人
7	やのとあがつま(矢野顕子&上妻宏光) Japan tour 2020-asutero and Butterfly- ※共催：(一財)米子市文化財団、(株)山陰放送	5月15日(金)	米子市公会堂 大ホール	1,050人
8	新国立劇場 2019/2020 シーズン 演劇「願いがかなう ぐつぐつカクテル」 ※共催：(一財)米子市文化財団	8月2日(日)	米子市淀江文化セン ター大ホール	450人
9	日本舞踊家集団「弧の会」鳥取公演 ※共催：(一財)米子市文化財団	2月28日(日)	米子市公会堂 大ホール	600人
9事業9公演(東部3公演、中部3公演、西部3公演)				9,189人
10	特別共催事業(マスコミ) 9公演程度	通年	全県	—
11	特別共催事業(一般団体) 3公演程度	通年	全県	—

(2) プロデュース公演（県民文化会館指定管理事業）《創る》 【予算額 11,409 千円】

ア 【音楽】本公演の開催

公演名	開催時期	開催場所	実施内容
弦楽アンサンブルコンサート Tottori Chamber Orchestra	11月3日(火・祝)	倉吉未来中心 大ホール	「鳥取県クラシック・アーティストオーディション」受賞者を含む国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」による弦楽アンサンブルコンサート

イ 【舞踊・演劇】

令和3年度本公演予定の「舞踊（洋舞）」、令和4年度本公演予定の「演劇」の開催のための準備

【参考】

年度 ジャンル	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)
音 楽	(準備)	本公演	—	—	—
舞 踊	(準備)	(準備)	本公演	—	—
演 劇	(準備)	(準備)	(準備)	本公演	—
総合芸術等	—	—	(準備)	(準備)	本公演

(3) 芸術鑑賞教室（県補助事業：芸術鑑賞教室開催事業）【予算額 10,000 千円】

鳥取県からの補助金を受け、芸術鑑賞教室の開催のための事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。

ア 鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校）＜年12回程度＞

イ 児童生徒を対象とした文化芸術事業（芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演）

＜年35回程度＞

(4) 文化振興財団情報誌「アルテ」発行等情報発信（県民文化会館の指定管理事業）【予算額 5,929 千円】

県内の文化活動者や県内文化施設等から各種の活動や催しの情報を収集し、県民に向けて情報を発信する。＜年4回発行：11,000部/回＞

(5) 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業の実施 【予算額 3,433 千円】

鳥取県からの基金造成事業補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるため、文化芸術事業の実施経費等へ充当する。

ア 鑑賞事業及び特別共催事業並びに事業実施に係る共通経費（予算額 2,237 千円）

事業名（公演名）	開催時期	開催場所	目標入場者数
とりぎん文化会館梨花ホールリニューアル記念事業 「バリ管弦楽団 鳥取公演」 ※共催：(株)山陰放送	10月23日(金)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,800人
～親・子・孫、3世代におくる、歌のきずな～ みんなのうた コンサート ※協力：NHK鳥取放送局	11月1日(日)	倉吉未来中心 大ホール	1,100人
日本舞踊家集団「弧の会」鳥取公演 ※共催：(一財)米子市文化財団	2月28日(日)	米子市公会堂 大ホール	600人
特別共催事業（マスコミ）9公演程度	通 年	全 県	—
特別共催事業（一般団体）3公演程度	通 年	全 県	—
共通経費（鳥取）	通 年	—	—

イ 友の会会員管理・チケット販売システム賃借料及び手数料（予算額 1,196 千円）

件 名	備 考
友の会会員管理・チケット販売システム運用	個人情報保護強化及び利用者サービス向上
友の会会員管理・チケット販売システム バージョンアップ手数料	会員区分の見直しに係るバージョンアップ

2 文化芸術活動支援及び人材育成事業

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層を対象に、音楽や演劇等のジャンルにおいて、裾野の拡大、レベルアップ、コミュニケーション力の向上を目的とした事業を実施するとともに、将来的なネットワークづくりなどの環境整備の構築へ繋げる。また、鳥取の優れた郷土芸能の伝承、我が国古来の古典芸能の継承と発展を図る事業を実施するなど、中長期的なプランで事業を推進する。

(1) 次世代育成事業（県民文化会館指定管理事業）

ア とつとりの芸術宅配便 《観る》《触れる》 【予算額 4,473千円】

- (ア) 派遣者：鳥取県にゆかりのあるアーティスト
- (イ) 派遣時期：5月～2月 <年40回程度>
- (ウ) 派遣先：県内小学校・中学校・特別支援学校等
- (エ) 派遣分野：学校側の要望等により検討・調整する。
 - [西洋音楽部門] 声楽・オペラ、ピアノ、ゴスペル、管楽器、オーケストラ
 - [邦楽部門] 邦楽（箏、十七弦、三味線、尺八）
 - [郷土芸能部門] 和太鼓
 - [表現活動部門] ヒップホップダンス、演劇
 - [民族音楽部門] アフリカ民族音楽
- (オ) 実施形態：鑑賞型・体験型の公演、ワークショップ

イ トライアート 《育てる》 【予算額 3,465千円】

事業内容	開催時期	開催場所	実施内容	備考
鑑賞事業連携	(調整中)	とりぎん文化会館 倉吉未来中心 西部地区公共施設等	【音楽】 オーケストラ等音楽公演時に併せて、学生向けクリニックを年1～2回程度実施	鳥取県吹奏楽連盟との共催
			【舞踊・演劇】 鑑賞公演に関連するワークショップ、レクチャー企画を年1～2回程度実施	
育成事業連携	(調整中)		【音楽（弦楽・邦楽等）・舞踊・演劇】 過去プロデュース公演及び次期プロデュース公演に関連したアフターまたはプレワークショップ、レクチャー企画、小公演（再演含む）を年2回程度実施	

ウ 若手クラシックアーティスト育成プロジェクト 《育てる》 【予算額 3,136千円】

事業内容	開催時期	開催場所	実施内容	備考
若年層アーティスト養成プログラム	4月～3月 (1～2回程度)	とりぎん文化会館 倉吉未来中心 西部地区公共施設等	○楽器体験やトークを含めたコンサート 【出演者】過去のオーディション受賞者や県出身又は在住の音楽家を中心とした個人或いは団体	とりぎん文化会館、倉吉未来中心等の館事業と連携
アーティスト育成プログラム	4月～3月 (4回程度)		○県内外のプロの音楽家等によるアンサンブルクリニック 【対象】小・中学生の実践者及び高校弦楽部 【講師】TCOやN響の助言及び選定した音楽家 ○弦楽器の個人クリニック 【講師】N響の助言及び選定した音楽家	鳥取県オーケストラ連盟、各地区の交響楽団及びジュニアオーケストラと連携

(2) 伝承・継承事業（県民文化会館指定管理事業） 【予算額 5,376千円】

ア 古典芸能体験事業 《育てる》《伝える》

事業名	開催時期	開催場所	実施内容
古典芸能体験事業 「梨花薪能」	8月29日(土)	とりぎん文化会館 中庭スペース	「世界最古」と言われる日本独自の舞台芸術で、世界無形遺産に指定されている「能楽」に身近に触れてもらうための薪能公演の実施のほか、能独特の構えや運び、謡い、能楽で用いられる楽器体験や仕舞の実演を取り入れた体験型ワークショップや、初めての能楽鑑賞者がより楽しめるような、実演を交えた事前講座などを実施

イ 鳥取県青少年郷土芸能の祭典

令和3年度本公演の開催のための準備

【参考】「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」と「古典芸能体験事業」を交互に開催予定

年度	令和元年度	令和2年度 (予定)	令和3年度 (予定)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)
開催種別	郷土芸能	古典芸能	郷土芸能	古典芸能	郷土芸能
開催地域	東部	(県内)	中部	(県内)	西部
開催内容	郷土芸能公演	体験型公演	郷土芸能公演	体験型公演	郷土芸能公演

(3) とりアート実行委員会等事務局 (県補助事業：第18回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2020)

【予算額 29,798千円】

鳥取県からの補助金を受け、とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）開催事業の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。

ア 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局の運営

・幹事会、各部会（メイン、広報、人材育成）の開催及び連絡調整等

イ 鳥取県総合芸術文化祭東・中・西部地区企画運営委員会事務局の運営

・各地区委員会の開催及び連絡調整、地区事業の進捗管理等

3 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業 (指定管理事業) 【予算額 303,635千円 (収1-1を含む。)】

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立県民文化会館の設置及び管理に関する条例及び鳥取県と締結した協定に基づき、施設の管理運営を行う。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、賑わいの創出に向けた事業、教育機関との連携事業を実施する。

(1) 施設の貸与事業 (公益目的事業に係る施設貸与：60.0%見込み)

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 地域の賑わい創出事業 (予算額 5,456千円)

ア アート SQUARE 夢空間の実施 …………… <年5回程度：無料>

・フリースペース等を活用した県内文化活動団体の公演や親子向け公演

イ とりぎん文化会館「ホール探検ツアー」の実施 …………… <年1回：無料>

・若年層を対象にストーリー性のある施設見学や照明・音響設備等の操作体験

ウ 「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」の実施 …………… <年1回：有料>

・専門家による会館保有のグランドピアノ3種（スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ）の解説とミニコンサート

エ とりぎん文化会館周辺賑わい事業の実施 …………… <年2回程度：無料>

・地域の賑わい創出事業の各事業や周辺事業と連携したイベント等

(3) 教育機関連携事業（予算額 376 千円）

とりぎん文化会館「舞台技術研修会（舞台技術支援）」の実施・・・＜年5回：無料＞

- ・大学生、高校生、文化活動者等を対象とした舞台の進行管理、照明・音響設備操作等の体験型及び実践実技研修

(4) その他

ア (公社)全国公立文化施設協会中四国支部支部長館（中四国支部事務局事務及び協会理事業務）

支部委員会の開催（年3回）、研修会（業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会）の開催、調査・研究のための部会（経営環境部会、事業環境部会、特別部会）の設置など、当支部に関する事務・事業の適正かつ円滑な運営を行うとともに、当協会の理事に関する業務を行う。

イ 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局事務）

総会の開催、研修会（施設管理業務研修会、自主企画事業研修会、舞台技術研修会）の開催など、当協議会に関する事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。

公2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民に広く文化活動や交流の場を提供及び県民の自主的な活動を支援するとともに、人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立倉吉未来中心の設置等に関する条例及び鳥取県と締結する協定等に基づき、施設の管理運営を行う。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業等を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、地域に根差した事業を実施する。

1 人と人との交流、地域活性化事業（倉吉未来中心の管理運営事業：指定管理事業）

【予算額 231,819 千円（収 1-2 を含む。）】

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：55.0%見込み）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 未来つながるプロジェクト（予算額 3,499 千円）

ア 複合型企画の実施 …………… ＜年3回程度：一部有料＞

子どもから大人まで、幅広い世代を対象とした「アート体験」「ステージパフォーマンス」などのアートを中心とした複合型イベントを地域の活動者や各種団体、倉吉パークスクエア内各施設と連携・協働して実施することで、地域の賑わいの創出と交流の促進を図る。

[複合内容]

- ・みらい楽演祭 ・ハッピースマイルコンサート ・ホール探検ツアー
- ・地域との協働制作 ・みらいアートギャラリー

イ 訪問コンサートの実施 …………… ＜年4回程度：無料＞

- ・ホールなどでの舞台芸術鑑賞が困難で、文化芸術に触れる機会が少ない福祉施設などに向けたアウトリーチ

- ウ みらいアートギャラリーの実施 …………… <通年：無料>
 - ・活動支援と美術への興味・関心の醸成を目的としたアマチュア活動者の作品、障がい者アート、地域の文化資源など、多様なジャンルの作品の展示
- エ 倉吉未来中心施設見学ツアーの実施 …………… <年3回程度：無料>
 - ・施設に愛着を持ってもらうことを目的とした学校や公民館等を対象とした施設見学の受入れ
- オ 倉吉未来中心舞台技術講座の実施 …………… <年1回（2日間）：無料>
 - ・舞台芸術に取り組む学生の育成を目的とした舞台技術（舞台・照明・音響）に関する基礎講座
- カ 倉吉未来中心舞台技術支援の実施 …………… <通年：無料>
 - ・舞台技術に関することや設備の改修・運用など、専門職員としての知識や情報などを活動者や他施設に提供
- キ 倉吉未来中心イベント相談窓口の設置 …………… <通年：無料>
 - ・地域の活動者や施設利用者の支援を目的とした「施設利用」「アートマネジメント」「舞台技術」に関する相談窓口
- ク 館内インスタレーションの実施 …………… <通年>
 - ・施設の賑わい創出を目的とした「七夕」や「クリスマス」などの季節にちなんだ館内装飾
- ケ 倉吉未来中心サポーターの推進 …………… <通年>
 - ・施設運営を支えるサポーター制度の確立と企業協賛の獲得

収1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業（公益目的事業以外）

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通じた人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供する。

- 1 鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：40.0%見込み
- 2 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：45.0%見込み

法人の管理運営

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。 【予算額 3,649千円】

- 1 資産の管理に関すること
- 2 評議員会に関すること
- 3 理事会に関すること
- 4 事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること
- 5 人事管理、給与関係事務に関すること
- 6 会計経理及び契約に関すること
- 7 関係機関との連絡調整に関すること
- 8 人材育成に関すること
- 9 その他、財団の事務処理に関すること

特定天井耐震工事及び舞台機構改修工事など大規模改修工事の概要

建築基準法の改正（平成25年8月）に伴う県有施設の特定天井耐震対策のため、県民文化会館（梨花・小ホール）及び倉吉未来中心（大・小ホール）の特定天井耐震工事を行う。

加えて、上記特定天井耐震工事に併せて、県民文化会館（梨花・小ホール）及び倉吉未来中心（大・小ホール）の特定天井照明、舞台機構設備、舞台音響設備等の改修に係る実施設計及び改修工事を実施する。

なお、各工事は鳥取県の予算により執行される。

1 県民文化会館

[工事種別]

- 特定天井耐震工事 梨花ホール …… 工期：令和2年2月～10月まで
小ホール …… 工期：令和2年3月～7月まで

- 特定天井照明改修 梨花・小ホール…… 工期：令和2年2月～9月まで

- フリースペース防水工事 …… 工期：令和2年4月～9月まで

- 舞台機構設備改修 梨花ホール …… 工期：令和2年2月～10月まで

- 舞台音響設備改修 梨花・小ホール …… 工期：令和2年2月～10月まで

2 倉吉未来中心

[工事種別]

- 特定天井耐震工事 大ホール …… 工期：令和3年1月～9月まで
小ホール …… 工期：令和3年1月～6月まで

- 特定天井照明改修 大・小ホール …… 工期：令和3年1月～9月まで

- 舞台機構設備改修 大ホール …… 工期：令和3年1月～11月（予定）まで
※特定天井耐震工事後の10月～11月は引き続き閉館

小ホール …… 工期：令和3年1月～7月（予定）まで
※特定天井耐震工事後の7月は引き続き閉館

- 舞台照明設備改修 大・小ホール …… 工期：令和3年1月～9月まで